



平成 26 年 10 月 27 日

各 位

社 名 株式会社エクセル  
代表者名 代表取締役社長 谷村 偉作  
(コード：7591 東証第1部)  
問合せ先 取締役管理本部長 太田 勝男  
(TEL. 03-5733-8404)

### 特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成27年3月期第2四半期決算において、以下のとおり特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。また本日開催の取締役会において、以下のとおり、平成26年5月15日に公表した業績予想を修正することといたしましたので併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上について

当社の子会社である卓華電子(香港)有限公司が、勝華科技股份有限公司(以下「WINTEK」)に対して有する売掛金債権について、その回収可能性について検討を行った結果、現時点では回収見込みが不確定であるため、平成 27 年 3 月期第 2 四半期決算においては、当第 2 四半期末時点の債権残高に対する貸倒引当金繰入額 2,587 百万円 (25 百万 USD) を特別損失として計上することといたしました。平成 27 年 3 月期通期の貸倒引当金繰入額は、現時点では、13,177 百万円 (128 百万 USD) ※を予定しております。

なお、本件の経緯につきましては、添付資料「子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」をご参照下さい。

※上記貸倒引当金繰入額は、最新の情報に基づき算出いたしました。また円換算レートや回収可能見込額により今後変動する可能性があります。

#### 2. 業績予想の修正について

①平成 27 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 115,000	百万円 2,200	百万円 2,100	百万円 1,600	円銭 184.62
今回修正予想 (B)	116,000	2,180	2,280	△800	△92.31
増減額 (B-A)	1,000	△20	180	△2,400	
増減率 (%)	0.9	△0.9	8.6	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	50,125	945	1,213	864	99.71

②平成 27 年 3 月期通期連結業績予想の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 230,000	百万円 3,900	百万円 3,800	百万円 2,900	円銭 334.63
今回修正予想 (B)	230,000	4,300	4,300	△8,000	△923.12
増減額 (B-A)	0	400	500	△10,900	
増減率 (%)	0.0	10.3	13.2	—	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	129,806	1,999	2,263	1,517	175.14

3. 修正の理由および今後の見通しについて

①平成 27 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績について

当社グループが属する電子部品業界では、海外市場を中心としたスマートフォンやタブレット及びその関連部品の好調が継続しており、当社グループの売上高、営業利益、経常利益は、ほぼ期初公表値どおり順調に推移いたしました。

しかしながら、当社子会社の取引先である WINTEK が平成 26 年 10 月に会社更生の手続の開始及び会社財産保全処分の申立てを行ったことにより、特別損失を計上することとしたため、上記のとおり業績予想を修正することといたしました。

②平成 27 年 3 月期通期連結業績について

海外市場を中心としたスマートフォン向け電子部品及び液晶モジュール向けデバイスの需要は旺盛で、今後とも拡大傾向にあり、当社グループの平成 27 年 3 月期通期の売上高、営業利益、経常利益は、期初公表値をやや上回る勢いで推移する見込みであります。しかしながら、平成 27 年 3 月期通期において、特別損失を追加計上する見込みであることから、上記のとおり業績予想を修正することといたしました。

③今後の見通しについて

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、まだ発表できる段階にはありませんが、営業利益、経常利益ともに平成 27 年 3 月期通期連結業績予想額 (修正後) を更に上回る見通しであります。

当社グループと致しましては、多額の貸倒引当金繰入により招いた資本の毀損を、できる限り短期間に復旧すべく、全社一丸となって業績の拡大を目指して参ります。

なお、中間配当金につきましては、今後の業績見通し、内部留保金、株主の皆さまへの安定的な利益還元等を総合的に勘案し、本日開催の取締役会において、1 株当たり 17 円とすることで決議いたしております。

詳細は、本日付で別途開示しております「剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照下さい。

今回、多額の貸倒引当金繰入により、資本の毀損を招いたことにつきまして、株主の皆さまをはじめ関係各位に多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを心からお詫び申し上げますとともに、当社グループとして、今回の事態を厳粛に受け止め、与信管理体制の更なる強化に努めてまいります。

以 上

※ 上記の業績につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの予想値と異なる可能性があります。



平成 26 年 10 月 14 日

各 位

社 名 株式会社エクセル  
 代表者名 代表取締役社長 谷村 偉作  
 (コード：7591 東証第1部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 太田 勝男  
 (TEL. 03-5733-8404)

子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ

当社は、香港所在の子会社において下記のとおり債権の取立不能又は取立遅延のおそれが生じたので、お知らせいたします。

記

1. 当社香港子会社の概要

- (1) 商 号：卓華電子（香港）有限公司
- (2) 所 在 地：Units 2008-2009, 20/F, Chevalier Commercial Centre, 8 Wang Hoi Road, Kowloon bay, Kowloon, HONG KONG
- (3) 代 表 者：冨永 之衛

2. 取引先の概要

- (1) 商 号：勝華科技股份有限公司（以下「WINTEK」）
- (2) 所 在 地：台中市潭子區建国路 10 號（台中出口加工区）
- (3) 代 表 者：黃 顯 雄
- (4) 事業内容：タッチパネルの製造・販売等
- (5) 資 本 金：NT\$20.48 billion

3. 取立不能又は取立遅延のおそれが生じた経緯の概要

平成 26 年 10 月 13 日、WINTEK により、同社が台中地方法院（地方裁判所）に対して会社更生の手續の開始及び会社財産保全処分の申立てを行う予定であり、同日その旨の取締役会決議を行った旨の発表がなされたため（現在、詳細確認中）。

4. 取引先に対する債権の種類及び金額

債権の種類	金 額	連結純資産に対する割合
売掛金	135百万USD (14,557百万円)	50.0%

(注) 上記売掛金は平成 26 年 9 月末、円換算レートは平成 26 年 10 月 10 日中値、連結純資産は平成 27 年 3 月期第 1 四半期実績に基づき算定しております。

WINTEK 向けの液晶モジュール販売については、既に商流変更を行っており、当社の子会社において、今後 WINTEK に対する新規売掛金は発生いたしません。

5. 今後の見通し

平成 27 年 3 月期第 2 四半期において WINTEK に対する売掛金の一部または全部に対して貸倒引当金を設定する可能性があります。本件により連結業績見通しに変更が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以上